

# 授業科目 セクシュアリティ看護学概論

【担当教員名】 塚本 康子		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要】 セクシュアリティを護り支える看護を考究していくために、セクシュアリティの概念や最新の動向と問題を検討する。また、看護を展開していくときに必要な基礎的理論として、発達、親子関係、健康教育について学び、看護の果たすべき役割と機能について考察する。					
【行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. セクシュアリティ、リプロダクティブヘルスの概念を説明できる。</li> <li>2. ヒトの発生と胎児の成長について説明できる。</li> <li>3. 生殖器の形態と構造、性功能、性周期について説明できる。</li> <li>4. 出産をめぐる歴史の変遷と動向について説明できる。</li> <li>5. 基礎的理論として、発達、親子関係、健康教育について説明できる。</li> <li>6. 看護の倫理的問題について指摘し、検討する。</li> <li>7. 女性のライフサイクルにおける健康問題を指摘できる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	発達の概念、ヒトの発生と胎児の成長			1. 2	講義、担当：塚本 康子
2	人間の性と生殖の概念、性周期			3	講義、担当：塚本 康子
3	セクシュアリティとリプロダクティブヘルスの概念、母性看護の特性			1. 2. 3	講義、担当：塚本 康子
4	出産をめぐる歴史の変遷と動向			4	講義、担当：塚本 康子
5	基礎的理論－発達、親子関係、健康教育			5	講義、担当：塚本 康子
6	基礎的理論－発達、親子関係、健康教育			5	講義、担当：塚本 康子
7	看護における倫理的課題			6	講義、担当：塚本 康子
8	女性のライフサイクルにおける健康問題			7	講義、担当：塚本 康子 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論	森 恵美、高橋 真理、工藤 美子	医学書院	2013・2,400円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験 50 点、レポート課題 50 点。			【履修上の留意点】 たくさん文献を読みましょう。		